

第26回外務省政策会議 (概要記録)

日時：4月21日 午前8：00～8：45

場所：衆議院第2議員会館 第1会議室

出席議員の概数：10名程度

議題：

- (1) 核セキュリティ・サミットの報告及びNPT運用検討会議の見通し
- (2) 岡田大臣の国連安保理公開討論出席の報告
- (3) タイ情勢、キルギス情勢、中国青海省の地震被害について
- (4) その他

第1 外務省からの説明

1 核セキュリティ・サミットの報告及びNPT運用検討会議の見通し【事務方】

配付資料に沿って説明。

2 岡田大臣の国連安保理公開討論出席の報告【事務方】

配付資料に沿って説明。

3 タイ情勢、キルギス情勢、中国青海省の地震被害について【事務方】

タイ情勢、キルギス情勢について、それぞれ資料に沿って説明。中国青海省の地震被害については資料配付のみ。

第2 質疑応答

1 核セキュリティ・サミットの報告及びNPT運用検討会議の見通し

(質問・コメント)

- ・ 核セキュリティ・サミットで念頭にあるのは北朝鮮やイランであろうが、日本の核セキュリティの状況についても国際的な関心が高いので適切に対応すべき。
- ・ サミットの機会に行われた二国間会談の報道振りについては、十分に中身が伝わっていない面もあるので、対外広報を適切に行うべし。
- ・ 2005年の運用検討会議は議事妨害があり、会期のほとんどを手続事項の議論に費やした。今回は事前に手続事項を整理し、結論に至ってほしい。

(回答：福山副大臣・事務方)

- ・ 核セキュリティ・サミットにかかる報道振りを踏まえ、対外広報については一層留意していきたい。

2 タイ情勢

(質問・コメント)

- ・ タイを含む東南アジアは日本の経済発展を支える地域。経済的影響を含め、本件は日本にとり重要。
- ・ 現在のタイの現状はクーデター、内乱に近い。そのような状況に鑑み、タイに対するODAを見直すべきではないか。

(回答：福山副大臣・事務方)

- ・ タイ情勢が与える影響の重要性については御指摘のとおり。タイ政府に対し邦人の安全確保を強く働きかけるとともに、在外公館を通じて情報収集に鋭意努めてきている。
- ・ タイに対するODAの扱いについては検討する。

3 キルギス情勢

(質問・コメント)

- ・ キルギス情勢は、アフガン情勢にも影響を与える重要な問題である。
- ・ キルギスに対し、これまで日本は多額の経済協力を行ってきた。今回の事態に至る過程で、現地大使館からはどのような報告を受けていたのか。また、情報収集体制について検証すべき。
- ・ キルギスの今回の事態の背景には、ソ連崩壊の際にIMF等から自由競争社会を押しつけられたことがある。

4 イランの核問題

(質問・コメント)

- ・ イランの核問題が切迫している。クリントン米 국무長官の意識の相当部分が、同問題に向かっているものと思われる。我が国も対応を検討する必要がある。
- ・ イランは最後には引くのではないかと考えている。我が国は優秀なペルシャ語研修の人材が現地に人脈を形成しているなどアセットがある。この問題についても、これまでのアセットを失わないよう上手く振る舞って欲しい。

5 外務省政策会議の在り方

(質問・コメント)

- ・ NPT運用検討会議における我が国の代表者や対処方針について、報告がなされるべき。また、非核兵器地帯は大きなアジェンダであり、なぜ我が国として提唱できないのか。政策会議では説明を聞くだけでなく、そのような問題もしっかりと議論する場としてほしい。
- ・ イランの核開発問題、韓国軍艦沈没事件を取り上げてほしい。

(回答：福山副大臣)

- ・ 外務省政策会議については、政務二役と関係委員会の理事の方々と常に相談している。

具体的な議題や要望については、政策会議で指摘して頂くだけでなく、理事の方にもインプットして頂きたい。

- ・ 提起のあった議題について、連休前に政策会議を開催する。

(了)